

原水爆禁止世界大会実行委員会 御中

原水爆禁止2019年世界大会へのメッセージ

「核兵器のない世界」の実現に向けて、世界大会にご参加の皆様、また、開催にご尽力された関係者の皆様へ心より敬意を表します。

広島、長崎に原爆が投下され、幾多の尊い命が失われた第二次世界大戦が終わってから、74年を迎えますが、世界の国の中には核兵器を保有する国、保有しようとする国もあり、未だ、核兵器の脅威は無くなっていません。

東村山市では、昭和62年9月25日に「核兵器廃絶平和都市宣言」を行ない、この間「核兵器廃絶と平和展」等を開催し、平和の大切さ、核兵器使用の悲惨さを強く訴えてまいりました。

今後も、こうした歴史を風化させることなく次世代に語り継ぐとともに、世界の恒久平和実現に向けての努力をしてまいります。

平和な社会の実現は人類共通の願いです。原水爆禁止2019年世界大会が成功し、一日でも早く核兵器のない平和な世界が実現することを祈念しております。

令和元年8月

東村山市長 渡部 尚